



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イエメン：イエメン周辺海域の海賊

(6月4日付シャーシャ紙他)

2007年には25件であったソマリアの海賊による船舶の襲撃・拘束事件が、今年に入ってから既に27件も発生している。2日には、ソマリア沖の海賊・武装強盗行為対策に関する国連安保理決議第1816が採択され、外国船の海賊行為取締りのために軍艦がソマリア領域に入ることができるようになった。

1.4日付シャーシャ紙

海賊行為が頻発する理由としては、1991年以來のソマリア内戦によって、ソマリア暫定「政府」の統治能力が弱まっていること、3300キロにも及ぶソマリアの長い海岸線、大国等による沿岸地域での水産資源の奪取と不当な危険廃棄物の投棄をソマリアが疑っていること、武装したソマリア人が海賊行為によって得られる利益が大きいこと、の4つが上げられる。

2.3日付イエメン国営通信

(1)紅海に面するホデイダ州のイエメン漁業関係者がエリトリア人による海賊被害に遭っている。5月には5隻のイエメン漁船が奪われている。6月にはイエメン漁師約30名が拘束された(現在解放されている)。

(2)イエメン漁業関係者は、エリトリア沿岸警備隊による不当なイエメン漁船没収に悩まされている。

3.4日付サウラ紙

(1)イエメン治安当局は、UAEとの協力捜査により、ハダラマウト州沿岸でパキスタン船舶から1700キロの大麻を押収した。

(2)同船舶には、11名のパキスタン乗組員が乗船しており、パキスタンからイエメンを経由して近隣諸国に大麻を密輸するところだった。

<参考>日本船籍襲撃事件(4月21日)以降の海賊襲撃事件

5月28日 トルコ船籍、ドイツ船籍の計2隻がアデン湾沖の公海上で襲撃・拘束される。

5月25日 オランダ船籍船舶が拘束される。

5月25日 米国の会社が所有するヨルダン船が拘束される。